

2023年9月期 第2四半期

決算説明資料

株式会社ツナググループ・ホールディングス
(証券コード：6551)

ハイライト

2023年9月期 第2四半期業績

2023年9月期 通期業績予想（修正）

APPENDIX

- 会社概要
- 事業概要

四半期業績として

- 売上高・営業利益・営業利益率が創業以来過去最高を達成
 - 季節要因に加え、物流・小売・飲食の“雇用爆需”を受け、増収
 - 変動費化(コストコントロール)により収益性大幅改善

過去最高

売上高

3,871百万円
YoY 19.0%

過去最高

営業利益

212百万円
YoY 46.9%

過去最高

営業利益率

5.5%
YoY +1.1pt

- 通期業績予想 営業利益330百万円に対し累計255百万円/進捗率77.3%
- 通期業績予想 営業利益を上方修正(当初予想差異+70百万円)
 - 通期営業利益330百万円→400百万円

通期売上高

14,700百万円
修正なし

上方修正

通期営業利益

400百万円
当初予想+**21.2%**

通期営業利益率

2.7%
当初予想+**0.5pt**

事業KPIは各種好調に推移。売上成長および構造改革が進み営業利益率が大幅UP。
 財務KPIは営業利益増加に伴い今期早々にEVAスプレッドがプラスへ転換。

事業KPI

営業利益

実績

255 百万円

目標

106
百万円



営業利益率

実績

3.5%

目標

1.5%



売上高

実績

7,388 百万円

目標

7,225
百万円



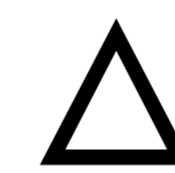
取引社数 *窓口数

実績

9,997 社

目標

1 万社



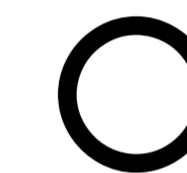
ARPU

実績

0.7 百万円

目標

0.7
百万円



財務KPI※

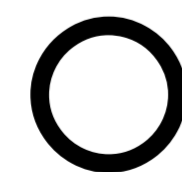
EVAスプレッド

実績

0.6%

目標

-2.5%



WACC

実績

6.4%

目標

6.2%



ROIC

実績

7.0%

目標

3.7%



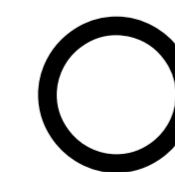
NOPAT

実績

217 百万円

目標

113
百万円



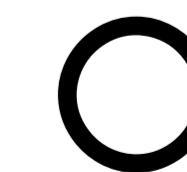
投下資本

実績

3,110 百万円

目標

3,100
百万円



TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG

ハイライト

2023年9月期 第2四半期

2023年9月期 通期業績予想（修正）

APPENDIX

- 会社概要
- 事業概要

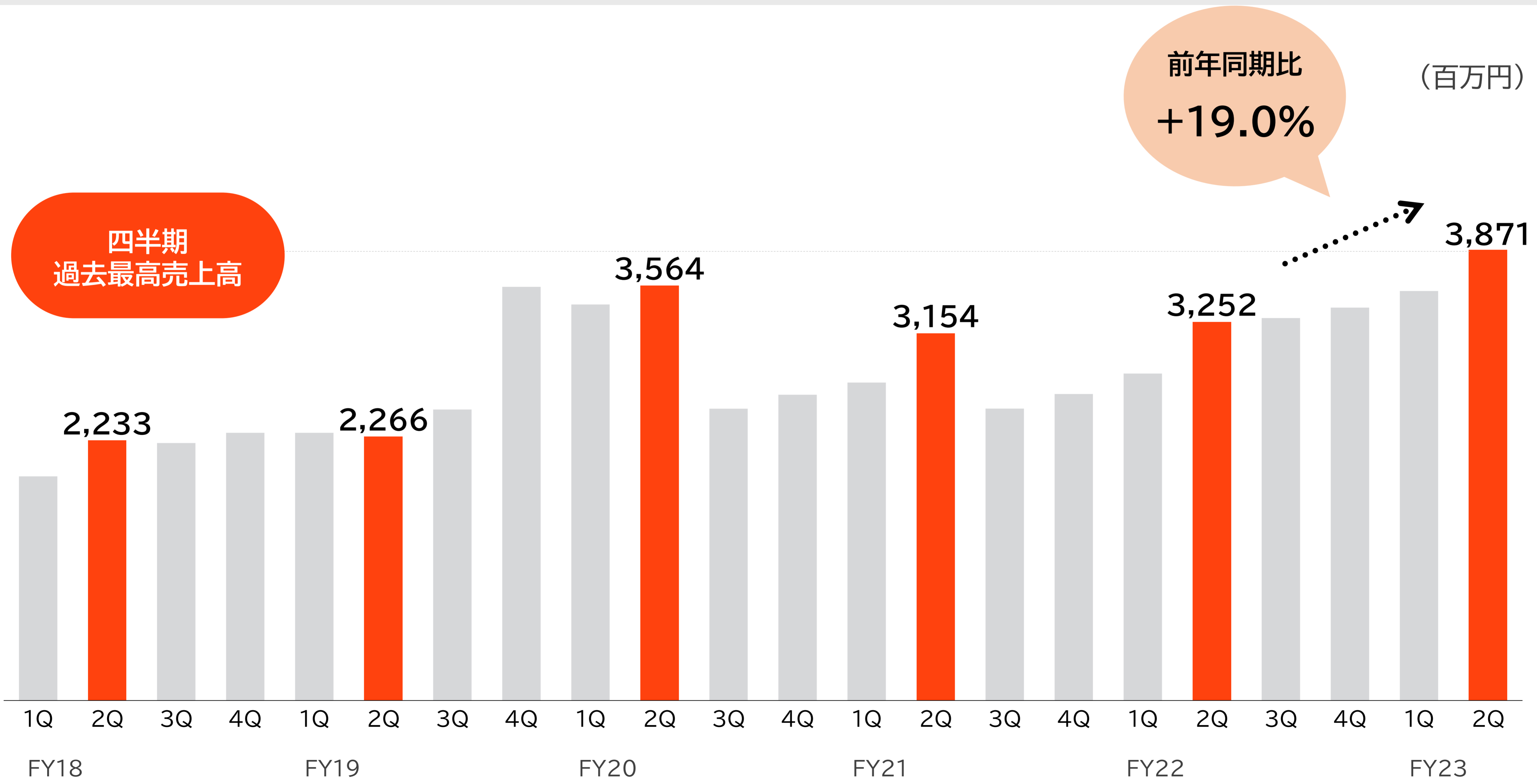
四半期業績として過去最高の売上高、2桁成長を達成。

営業利益・営業利益率も四半期業績として過去最高、さらに計画より高い水準で達成。

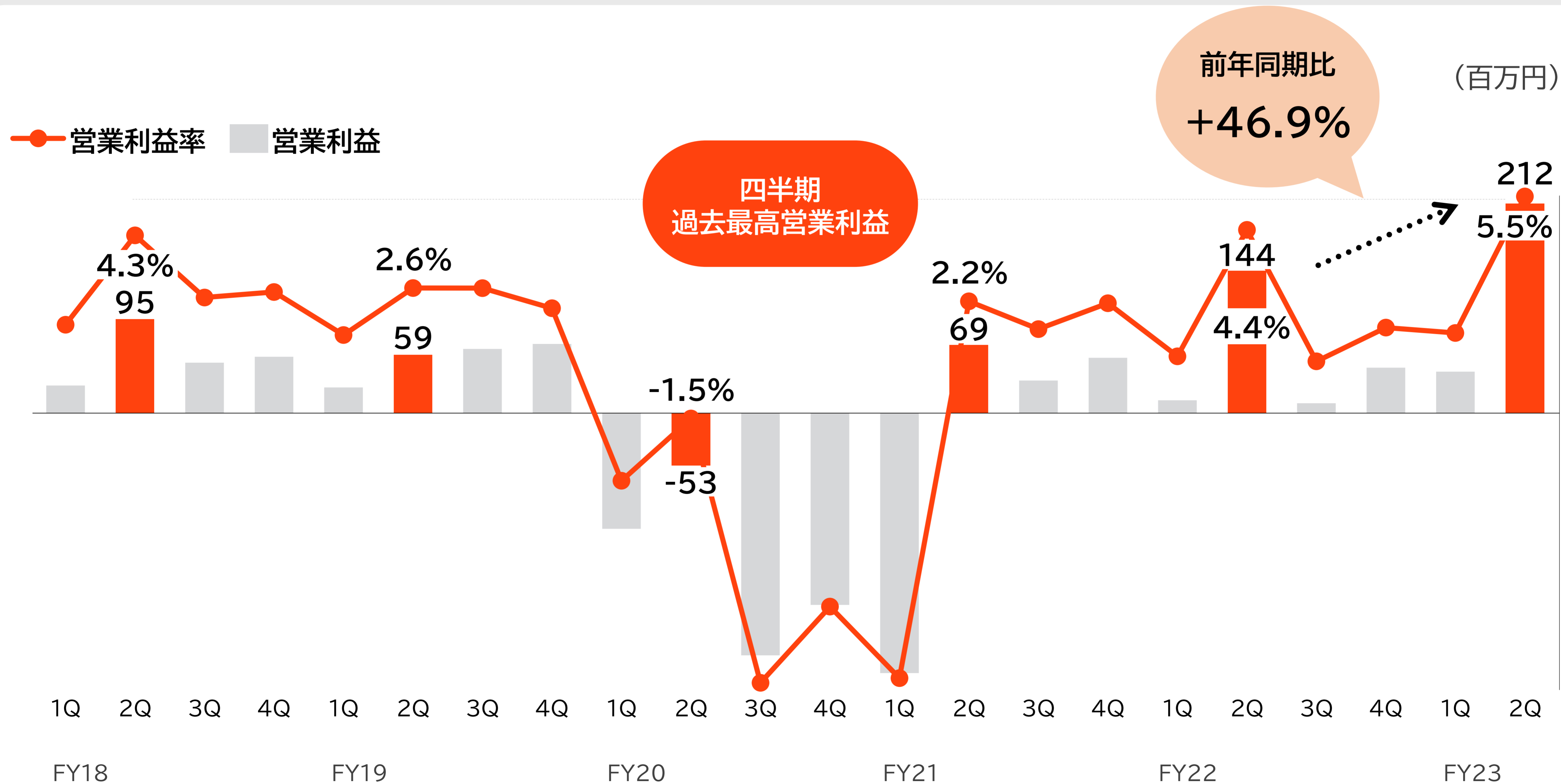
(百万円)

	2023年9月期 今期累計			2023年9月期 第2四半期		
	実績	利益率	YoY	実績	利益率	YoY
売上高	7,388	-	21.9%	3,871	-	19.0%
売上高総利益	3,332	45.1%	10.6%	1,675	43.3%	2.9%
EBITDA	412	-	30.2%	291	-	29.0%
営業利益	255	3.5%	61.6%	212	5.5%	46.9%
経常利益	256	3.5%	66.5%	213	5.5%	50.0%
当期純利益	169	2.3%	35.1%	136	3.5%	13.3%

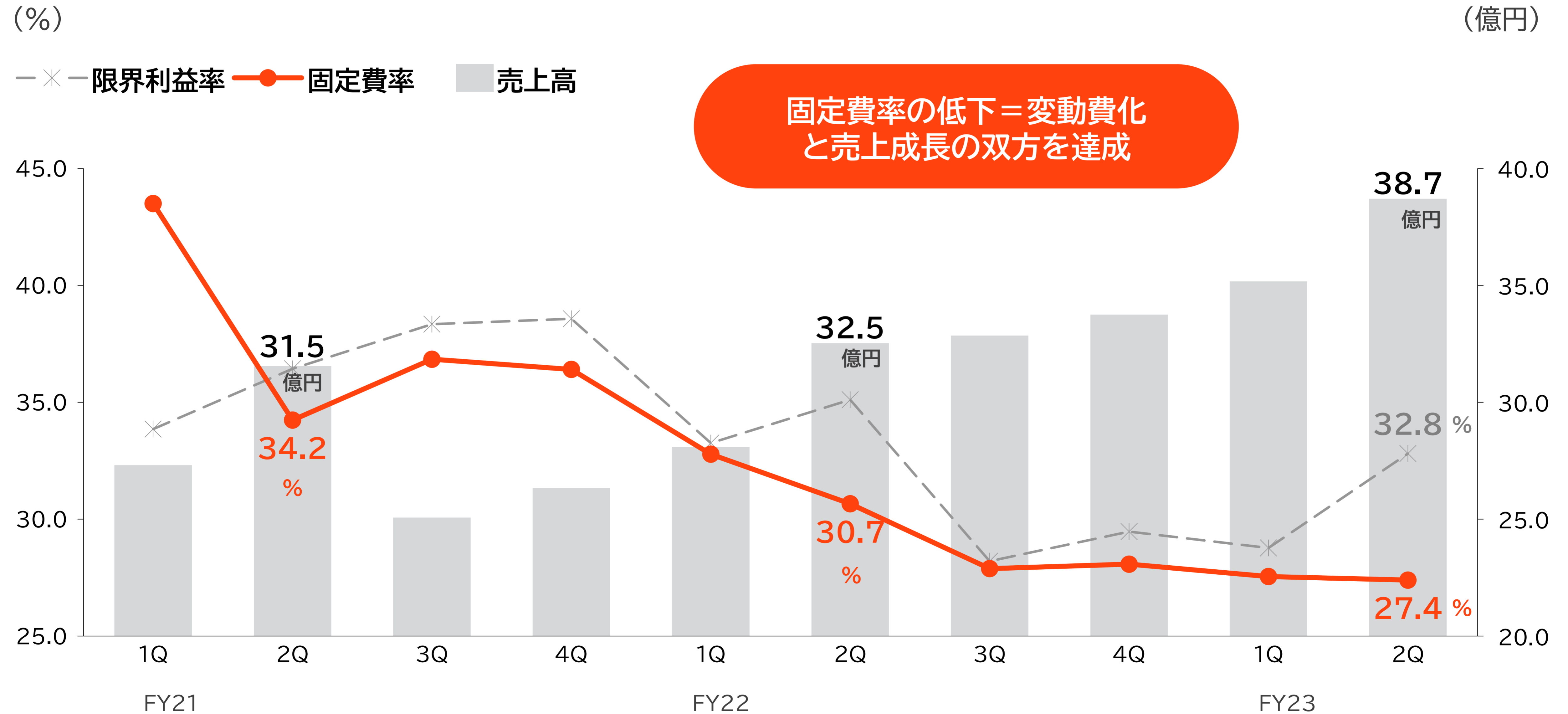
季節要因に加え、物流・小売・飲食の“雇用爆需”を受け、四半期業績として過去最高の売上高を達成。



営業利益率の改善を目指して構造改革を実施。四半期業績として過去最高の営業利益・営業利益率を達成。



売上及び業務の季節変動性が高い当業界において、業務の仕組み化および労働力の変動費化を進め、繁閑の差に対して柔軟な対応を行い、収益性向上を実現。



※変動費は売上原価に加え広告宣伝費、販売促進費(代理店手数料)が含まれる

安定的な財務状況実現に向け、まずは今期中に自己資本比率35%を目指す。
短期・長期借入金減額を進めたことにより、自己資本比率・D/Eレシオが改善。

2022年度9月末

- 自己資本比率 27.5%
- D/E レシオ 1.20倍

(5208)

(百万円)

流動資産 3,113	流動負債 2,298
	固定負債 1,374
固定資産 2,095	純資産 1,536

2023年度3月末

- 自己資本比率 30.7%
- D/E レシオ 0.77倍

(5087)

(百万円)

流動資産 3,103	流動負債 2,473
	固定負債 958
固定資産 1,984	純資産 1,655

※百万円未満切り捨てのため、左右の合計値は一致しない。

TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG

ハイライト

2023年9月期 第2四半期

2023年9月期 通期業績予想（修正）

APPENDIX

- 会社概要
- 事業概要

EBITDA・営業利益・経常利益を当初業績予想に対して7,000万円上方修正。

(百万円)

	2022年9月期	2023年9月期			
	実績	業績予想	修正予想	当初予想との 差異	YoY
売上高	12,721	14,700	14,700	0	15.6%
EBITDA	543	640	710	+70	30.8%
営業利益	215	330	400	+70	86.0%
経常利益	213	330	400	+70	87.8%

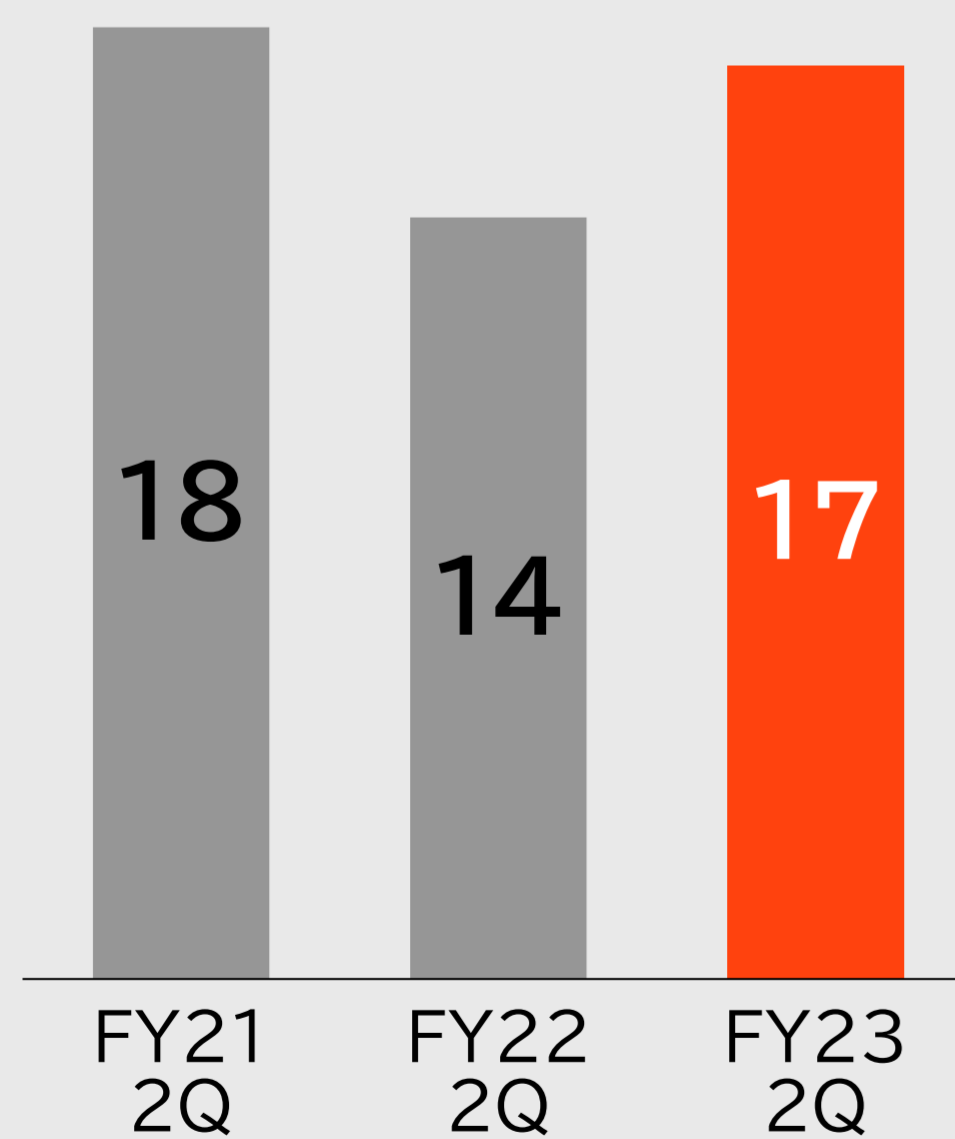
一人ひとりの教育研修費を強化し、生産性を向上。

なお、人的資本に関しては、改めて2023年11月に開示予定。

2|コスト

総労働力コスト

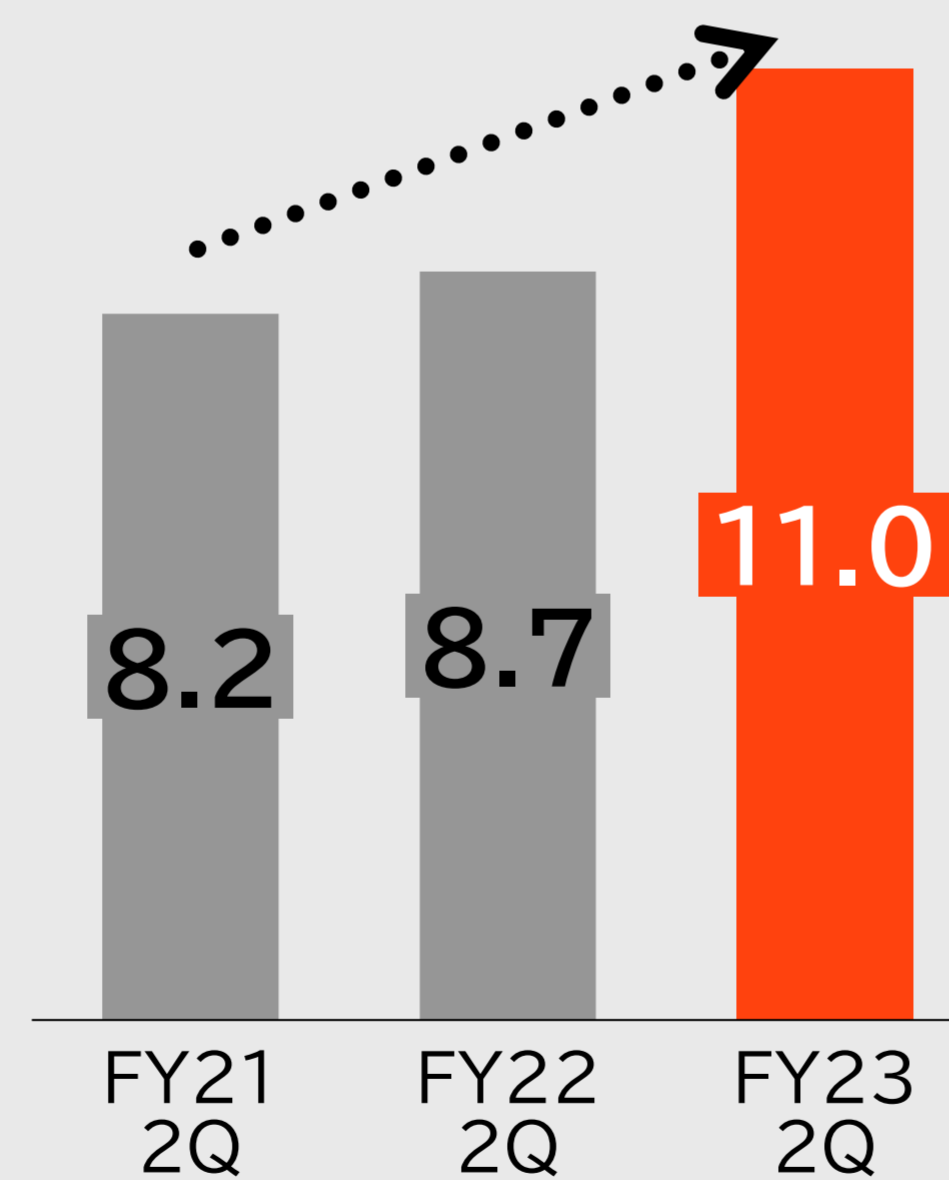
(億円)



7|生産性

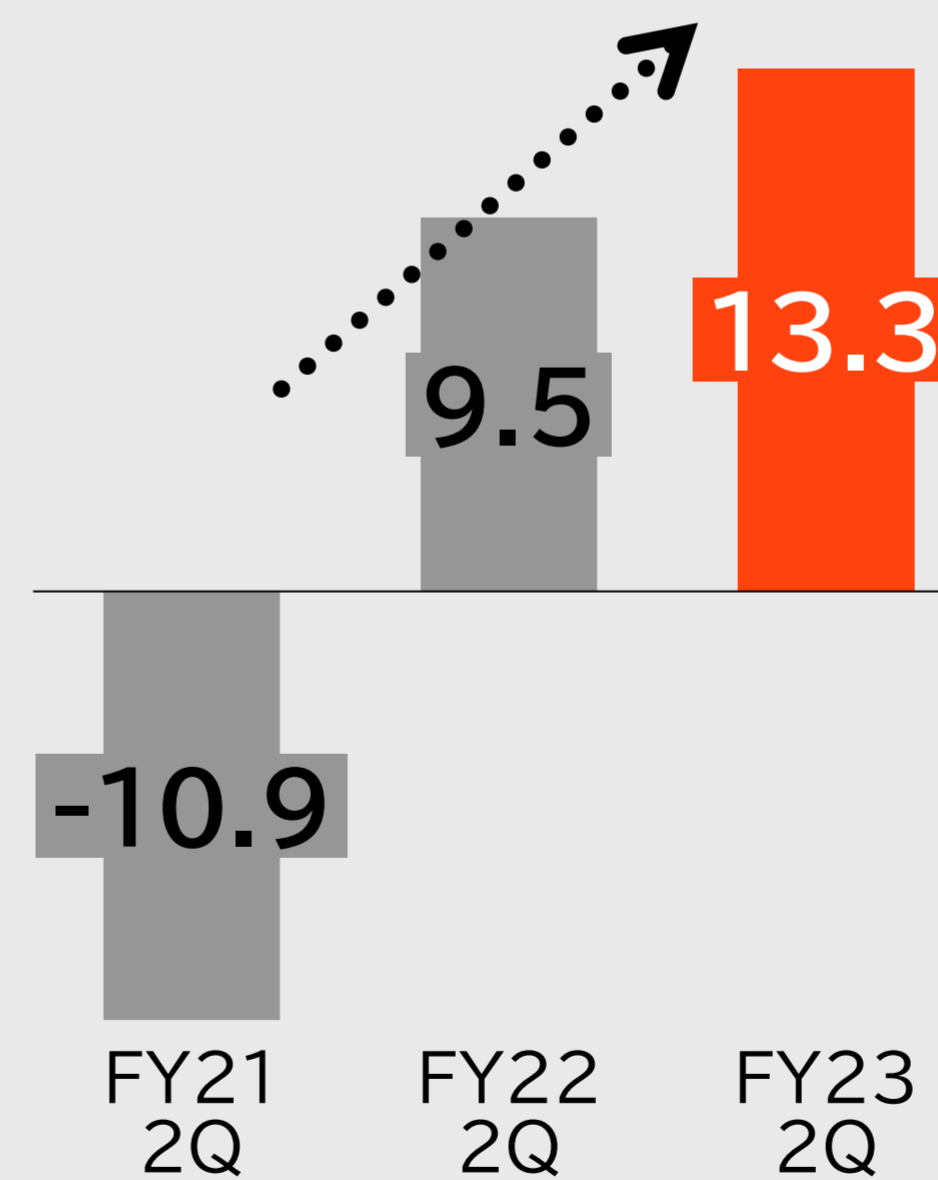
従業員一人当たりの業績

(百万円)



人的資本ROI

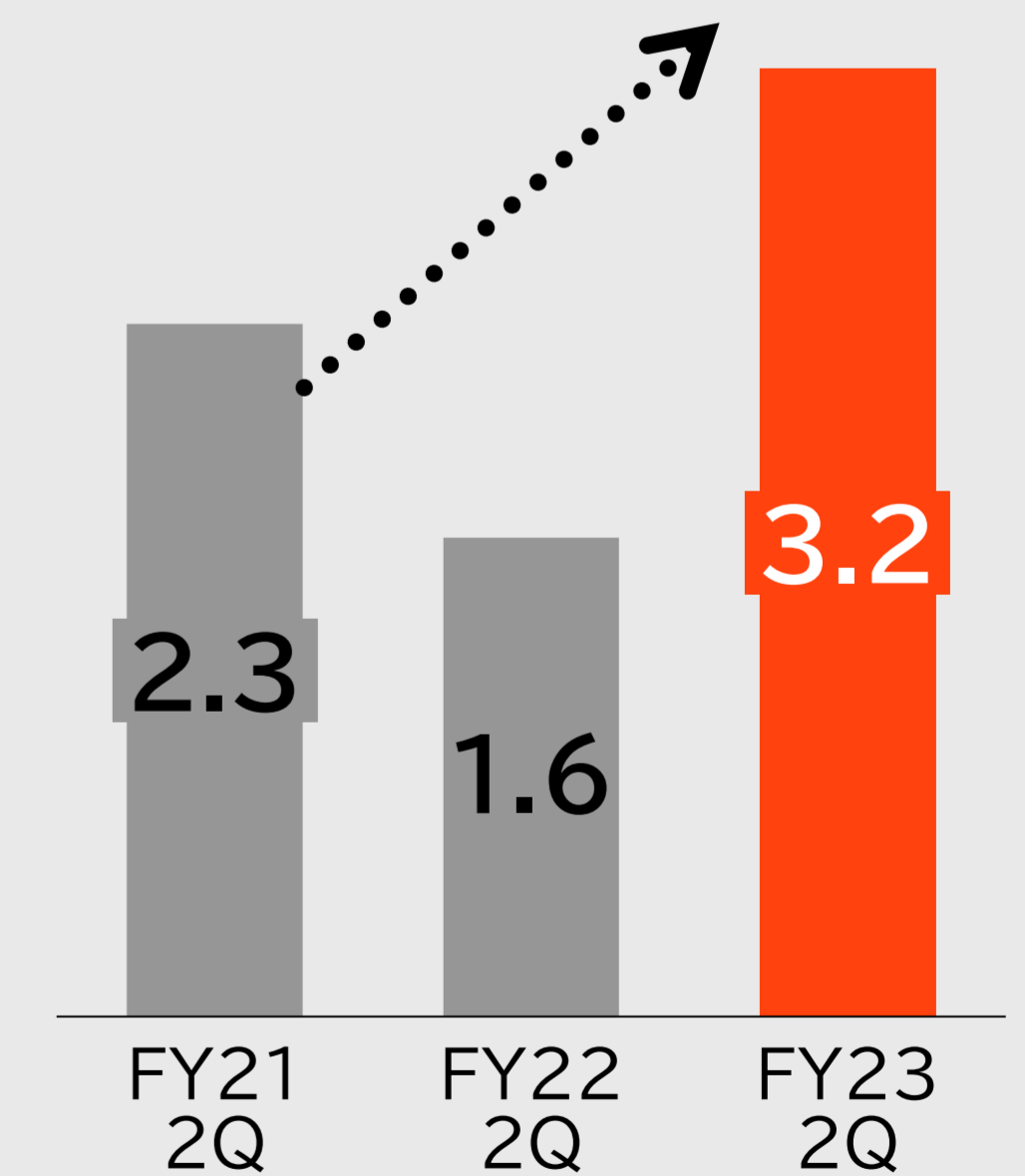
(%)



9|スキル・能力

人材開発・研修の総費用

(百万円)



株主還元の基本方針：

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要課題としており、
「成長投資の原資を確保した上で、業界平均の配当性向を継続的に行うこと」としております。

2023年9月期は**増配**とし、

1株あたりの年間配当金**8円**

を予定しております。

(参考／2022年9月期の年間配当金 **5円**)

TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG
TG TG TG

ハイライト

2023年9月期 第2四半期

2023年9月期 通期業績予想（修正）

APPENDIX

- **会社概要**
- 事業概要

社名 株式会社ツナググループ・ホールディングス 所在地 東京都千代田区神田三崎町3丁目1-16 神保町北東急ビル1F・2F

設立 2007年2月28日 従業員数 グループ合計 699名(契約、パートタイム社員含む) / 2022年9月30日時点

資本金 697,256千円 上場市場 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード:6551)



代表取締役社長 ^{よねだ} ^{みつひろ} 米田 光宏

1969年大阪府出身。
リクルートグループにて、アルバイト・パート求人メディアの営業、商品企画、営業企画、マーケティングなどを経て、アルバイト・パート領域の事業企画責任者に着任。
2007年アルバイトに特化したRPO(採用代行業務)を提供する株式会社ツナグ・ソリューションズ
(現株式会社ツナググループ・ホールディングス)設立。
スポットワーク協会代表理事。

ツナググループ体制



TSUNAGU GROUP
HumanCapital
株式会社ツナググループHC
代表取締役社長 上林 時久

Chance Creator Inc.
株式会社チャンスクリエイター
代表取締役社長 近藤 賢司

TSUNAGU
MATCHING SUCCESS
株式会社ツナグ・マッチングサクセス
代表取締役社長 上林 時久

Leaf NxT
株式会社LeafNxT
代表取締役社長 石橋 弘二

TSUNAGU SOLUTIONS
株式会社ツナグ・ソリューションズ
代表取締役社長 御子柴 淳也

Logi HR
ロジHR株式会社
代表取締役社長 玉井 生

企業理念

「つなぐ、つなげる、つながる。」

一人ひとりが何かと何かをつなぐ事で、何かを変える大きな力になる。
そして、その一つの“つながり”を、また別の“つながり”につなぐことで、
世の中を前に進める大きな力になる。

人と企業、人と人、企業と企業、過去から現在、現在から未来を「つなぐ、つなげる、つながる。」

働く人たちがもっとイキイキと働き、結果、企業がもっと成長し、面白い仕事を増やす。

そして社会がもっと元気になる。

企業や人の、それぞれのありたい姿が実現する。

その社会実現にむけて、私たち一人ひとりが、一つひとつの“つながり”をつなげていきます。

経営理念

「採用市場のインフラになる」

私達が持つサービスだけでなく、「低生産性を解決する」「採用・雇用成功を実現する」
ための全てのサービスを最適に、そして、公平性をもって、
世の中に“つなぐ、つなげる、つながる。”

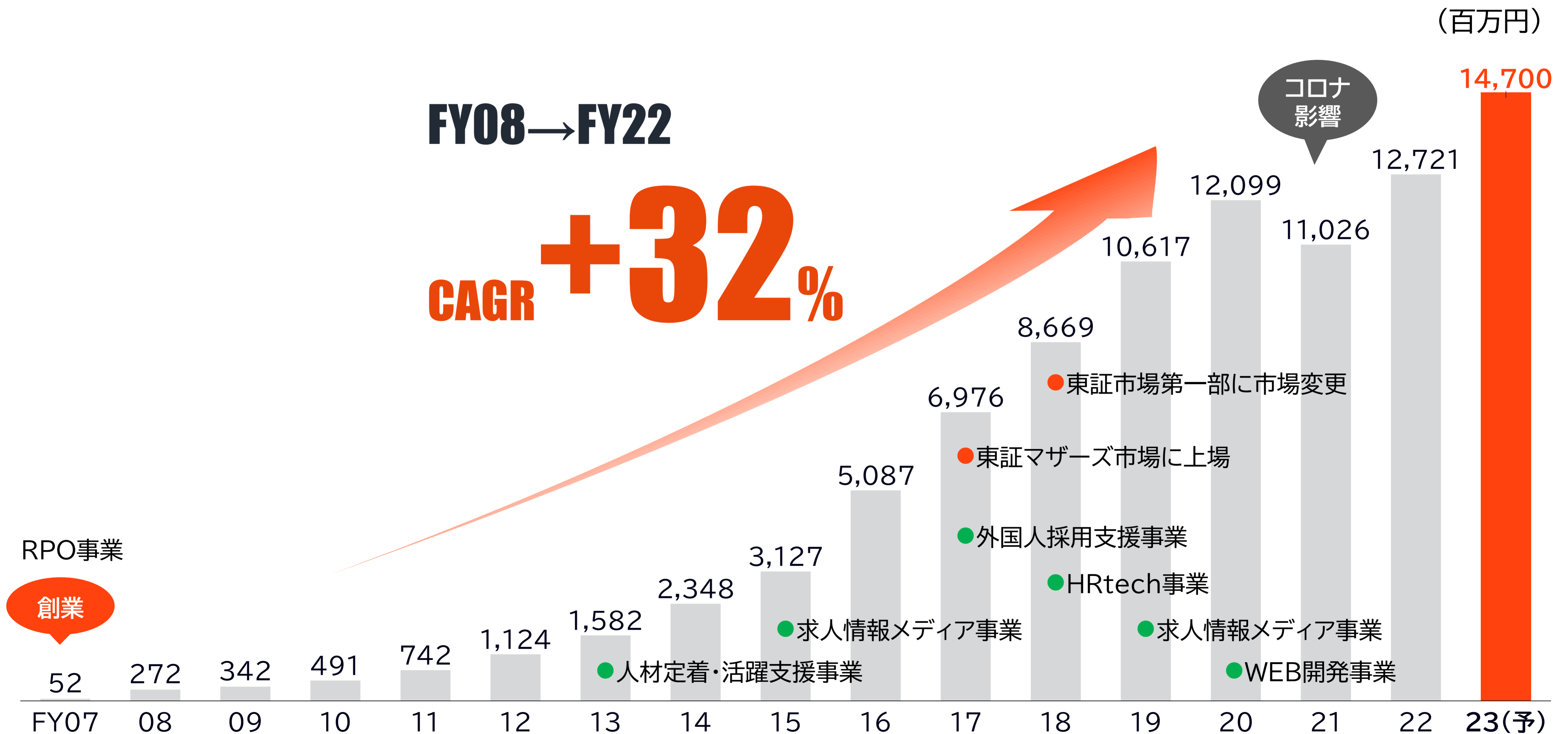
結果、イキイキと働く人が増え、職場が活性化し、そして日本が元気になる。

そのような社会実現の一助となるべく、私達は一日一日を、一つひとつの取り組みを
しっかりと努め続けます。

私達は社会にとって無くてはならない存在、「採用市場のインフラ」企業を目指します。

創業以来成長を続け、FY08～FY22でCAGR+32%。

時代の変化に応じて、M&A等により事業を拡張し、成長を続けています。

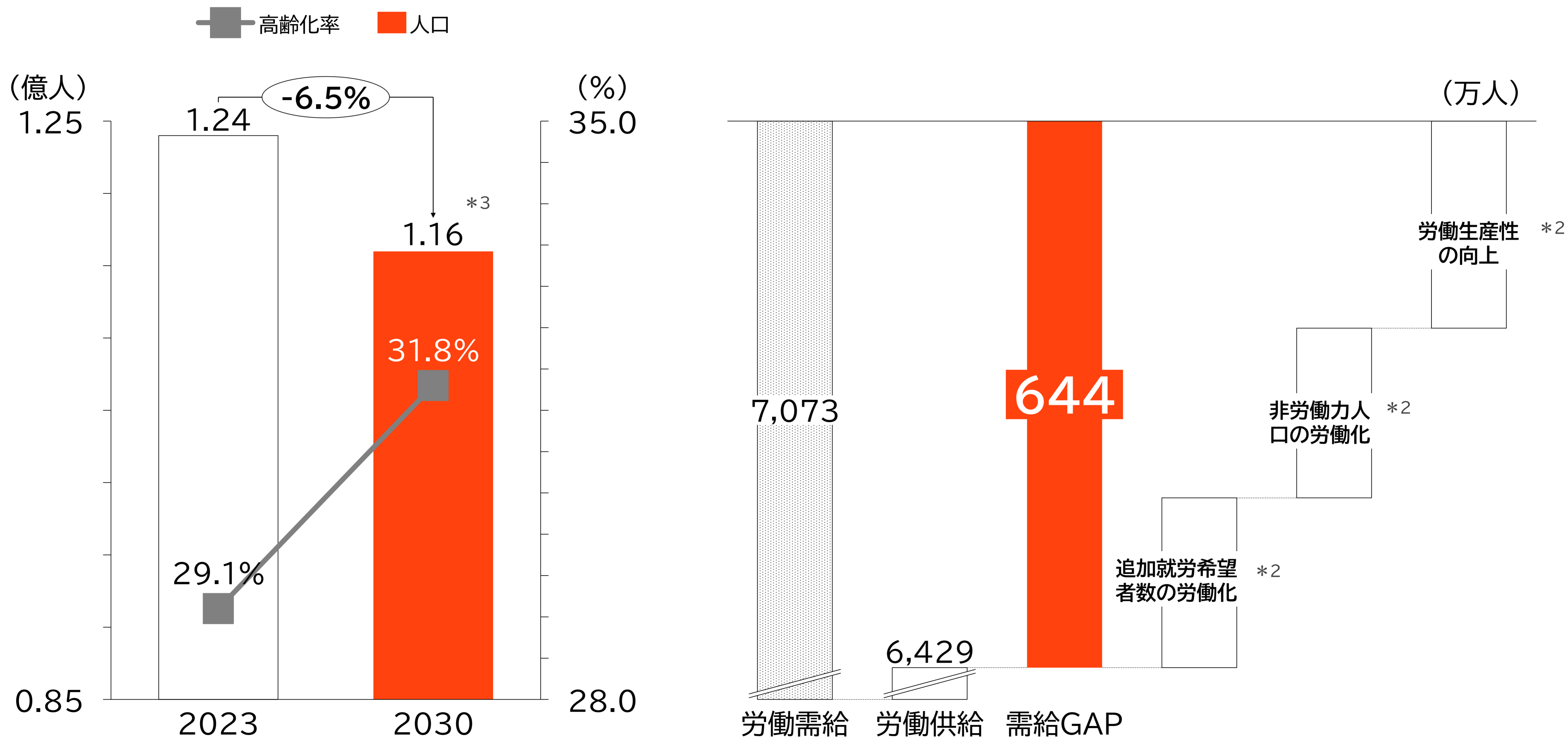


ツナググループとは「2030年労働需給GAP解消」を目指す、ソリューションカンパニーです。
私たちは社会課題解決へのインパクトを大きくするための成長を実現します。

**ツナググループは「2030年労働需給GAP解消」を目指す、
ソリューションカンパニーです。**



日本国内は人口減少及び超高齢化社会へ突入しており、労働力が大幅に減少。
労働力需給GAP発生は不可避。大きな社会問題となっている。



*1(出所)パーソル総合研究所・中央大学「労働市場の未来推計2030」
*2(注釈)GAPを埋める代表的な施策の一例であり、他にも施策は存在する
*3(出所)厚生労働省データより

コロナ禍を経てインバウンド需要の急速な復調により、観光・飲食関連職種が人手不足となっている。

従来より人手不足あった物流業界では「2024年問題」でより深刻に。また、介護・福祉関連職種も慢性的人出不足に陥っている。

2024年問題

2024年問題とは、自動車の運転業務に対する制限によって生じる問題を表しています。2019年に働き方関連法が施行されましたが、自動車の運転業務については各種制限が猶予されました。しかし、2024年には、物流業界に対してもほかの業界と同じように制限が適用されます。物流業界は現時点でもドライバーが不足しており、深刻な問題になっています。

インバウンド急速な復調

2023年インバウンド需要は4.96兆円と早くもコロナ前を上回る予想(野村総合研究所調べ)。訪日外客数が当初の予想を上回るペースで回復していることに加えて、一人当たりの消費額が思いのほか増加しています。

観光庁の昨年10-12月期の訪日外国人消費動向調査によると、一人当たりの消費額は21.2万円。これは、コロナ前の2019年15.9万円を上回っています。

ツナググループでは労働力需給GAP解消に向けた対策「Five Measures」を決めました。
グループリソースを集中させ、ボトルネック解消～対策実行のスピードを上げます。

Five Measures

Measure1

働く場所/回数を増やす

Measure2

働く女性/シニアを増やす

Measure3

働く外国人を増やす

Measure4

機械化導入等、
生産性を上げる

Measure5

既存労働力を維持する

ボトルネック1

スポットワーカーの
法整備など、安心して
快適に働ける環境。

ボトルネック2

作業分解による作業
難易度調整と多様性を
受け入れる組織文化。

ボトルネック3

グローバル視点での
日本で働く魅力低下。
雇用側の発想転換。

ボトルネック4

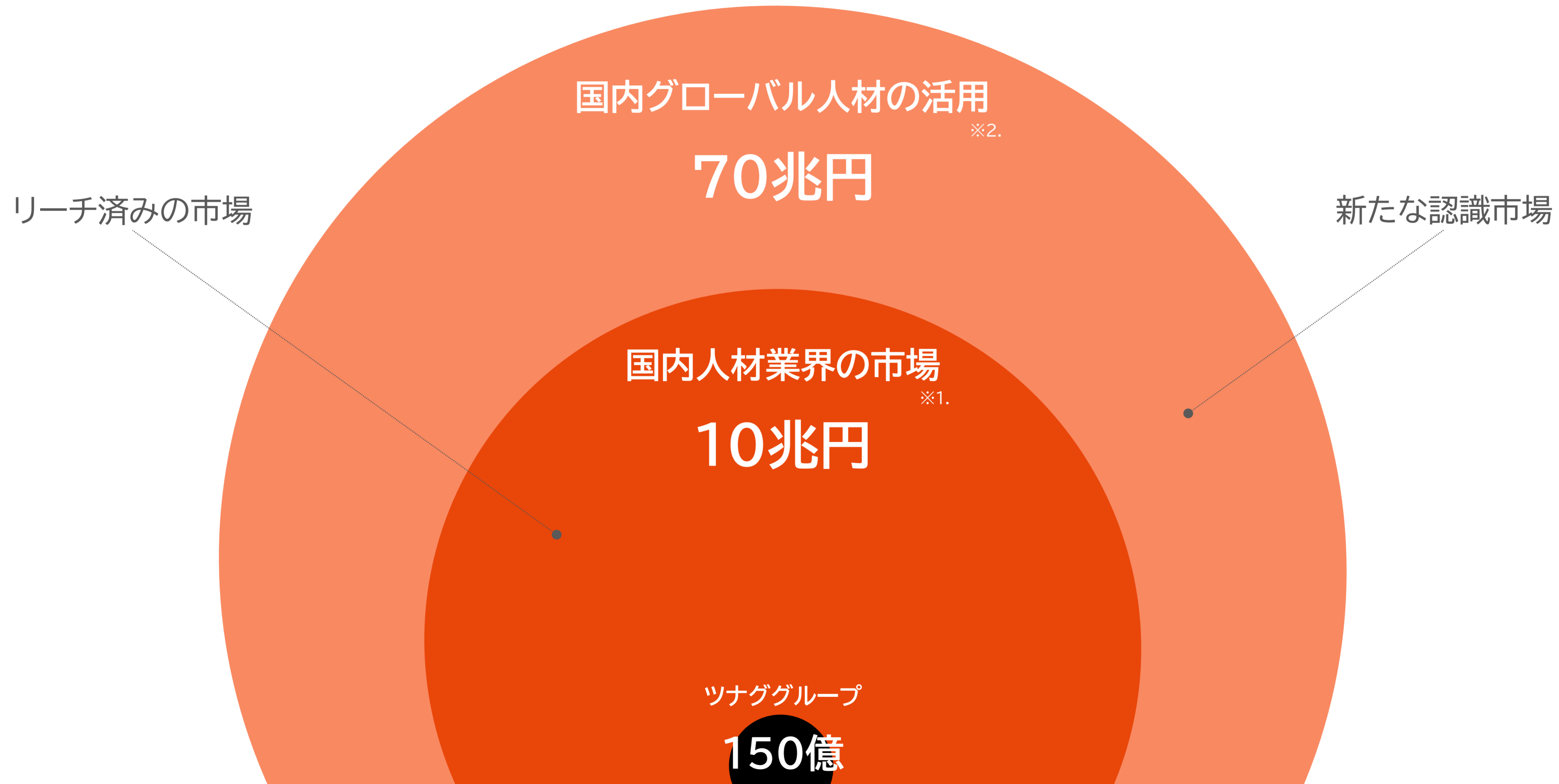
現場それぞれに合った
DX・機械化。リテラシー
向上。

ボトルネック5

従業員満足度の最大化。
掛け捨て的な採用からの
転換と流動性向上。

市場規模を70兆円として推計

2030年の労働力需給GAPを解決するには、従来の国内人材業界の市場にとどまると難易度は高く、グローバル人材の活用推進をしていく必要がある。



ハイライト

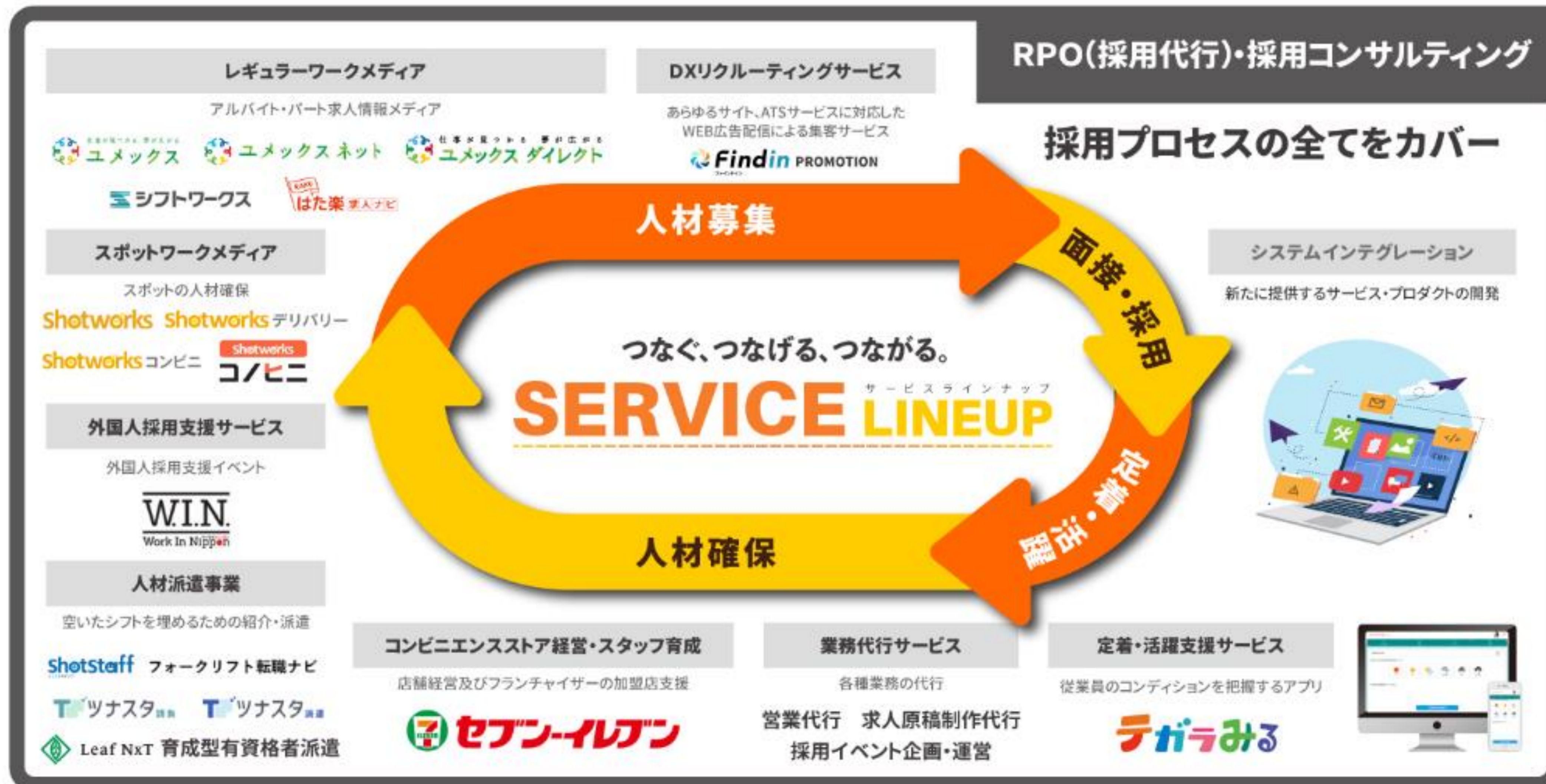
2023年9月期 第2四半期

2023年9月期 通期業績予想（修正）

APPENDIX

- 会社概要
- 事業概要

企業の人的資本向上実現を目指し「低生産性を解決する」「採用・雇用成功を実現する」ためのあらゆるサービスをワンストップで提供。



飲食・小売・物流・製造・人材サービス企業などとの取引実績。

2022年9月期にお取引いただいた主な顧客企業様（取引上位顧客企業、50音順表記）

アマゾンジャパン 合同会社 様	スターバックス コーヒー ジャパン 株式会社 様	株式会社 フォーシーズ 様
株式会社 AOKIホールディングス 様	株式会社 セブン-イレブン・ジャパン 様	福山通運 株式会社 様
イオンリテール 株式会社 様	株式会社 大創産業 様	本田技研工業 株式会社 様
ウエルシア薬局 株式会社 様	大和ライフネクスト 株式会社 様	株式会社 メガネトップ 様
株式会社 エイジス 様	タペストリー・ジャパン 合同会社 様	株式会社 メディカル・プラネット 様
エイジスマーチャンダイジングサービス 株式会社 様	株式会社 出前館 様	株式会社 メフォス 様
ENEOS 株式会社 様	トヨタ・コニック・プロ 株式会社 様	ヤマト運輸 株式会社 様
株式会社 ENEOSフロンティア 様	日総工産 株式会社 様	合同会社 ユー・エス・ジェイ 様
株式会社 王将フードサービス 様	日本ケンタッキー・フライド・チキン 株式会社 様	株式会社 ユニクロ 様
株式会社 カスミ 様	パーク24 株式会社 様	ラルフローレン 合同会社 様
株式会社 クスリのアオキ 様	パーソルプロセス&テクノロジー 株式会社 様	株式会社 リクルートスタッフィング 様
佐川急便 株式会社 様	ハーベスト 株式会社 様	株式会社 流通サービス 様
株式会社 サンマルクホールディングス 様	パナソニック エイジフリー 株式会社 様	株式会社 LEOC 様
シモハナ物流 株式会社 様	株式会社 FOOD & LIFE COMPANIES 様	など、およそ1万社

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、株式会社ツナググループ・ホールディングス(以下「当社」という)の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

<IRページ>
<https://tghd.co.jp/ir/>

<お問い合わせ>
<https://tghd.co.jp/ir/inquiry/>

「つなぐ、つなげる、つながる。」

ツナググループは
「2030年労働需給GAP解消」(社会課題解決)を
目指すソリューションカンパニーです

